

“健康・快適は窓から” 知って得する

すまいの健康・快適だより

3
2022 MARCH

テーマ

もしもに備えてやっておきたい

ドアの防犯対策

玄関のカギは
ひとつだけでは
危険なの?



<錠破りの手口の一例>



サムターン回し

玄関のガラスを破壊し
内側にあるつまみを
回して開けられてしまう!



ドアコジ破り

ピッキング

バールのような
器具を使い、
強引にドアをこじ
開けられてしまう!

どんな
防犯対策が
必要なの?

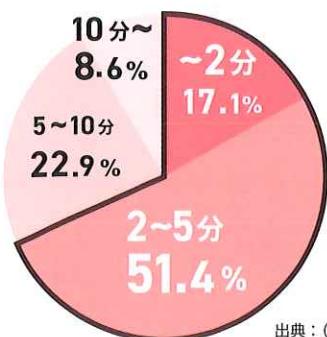


警察庁のデータ*によると、住宅対象侵入窃盗は平成16年から減少しているものの、一日当たり約58件発生し未だ多くの住宅が被害に遭っているそうです。すまいへの侵入経路として、窓の次に多い「玄関」。玄関ドアを選ぶ際、まずデザインに目がいきがちですが、大切な家族やすまいを守るためにには、しっかり防犯対策されたドアを選ぶことが大切です。

*出典：警察庁住まいの防犯 110番 令和2年データ

5分間ガードすれば約7割が侵入をあきらめる!

侵入をあきらめるまでの時間



5分以内が
68.5%

出典：(財)都市防犯研究センター

(財)都市防犯研究センターの資料によると、侵入盗が侵入を試みた際に、2分かかった場合は約17%、2～5分かかった場合は約51%があきらめるというデータがあります。つまり人目を避ける侵入盗は、5分で侵入できなければ7割が断念するということです。また、無縛り、いわゆるカギの閉め忘れでも侵入されるケースが多いため、ドアのカギを自動でかけられるタイプも有効です。すまいの防犯性を今一度見直して、より安全な暮らしを実現しましょう。

おすすめ対策は裏面へ！